経営者のための生命保険講座 第2回

生命保険見直し術 ―『あなたの保険 大丈夫ですか？』

前号では生命保険のおもなチェックポイントと、定期付終身保険の誤解について説明させていただきました。実際にご自分の保険証券をご覧になっていただけたでしょうか。

さて、今回は実際に保険証券を見て、分析してみましょう。

◎ 保険証券の一例

保険種類　証券番号	契約日	契約年齢(注1)	保険料払込期間(注2)	剰余配当金支払方法
（定期）第[redacted]号	平成17年 8月 3日	37 歳	60歳払済	契約者から請求があるまで積み立てる方法

(注1) 契約年齢は、満年で計算し、1年未満の端数については、6か月以上のものは切り上げ、6か月に満たないものは切り捨てます。契約日の年齢は申込書の記入内容にかかわらず、この年齢で計算します。
(注2) 保険料払込期間は、主たる保険契約の保険料払込期間を表します。

	定期保険特約の保険期間中	定期保険特約の保険期間満了後80歳まで (注3)	80歳以降終身
災害死亡・災害高度障害保障 死亡・高度障害保障	① 120,000,000円 100,000,000円	② 10,000,000円 5,000,000円	5,000,000円 5,000,000円

(注3) 年齢が80歳となる年単位の契約応当日の前日までです。

契約内容			保険期間	
主たる保険契約（終身保険）	保険金額	5,000,000円	終身	*
〔内転換部分〕	保険金額	558,500円	終身	*
特約 定期保険特約	③ 特約保険金額	95,000,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（60歳）
〔内転換部分〕	特約保険金額	12,706,800円	平成17年 8月 2日まで	*
災害割増特約	特約保険金額	15,000,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（60歳）
傷害特約	災害保険金額	5,000,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
災害入院特約	入院給付日額	8,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
疾病入院特約	入院給付日額	8,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
成人病入院特約	入院給付日額	5,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
ガン入院特約	入院給付日額	8,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
通院給付特約	通院給付日額	3,000円	平成17年 8月 2日まで	更新（80歳）
以下 余白				

・各入院特約の入院給付金は、入院開始日からその日を含めて4日間はお支払の対象となりません。
更新（××歳）と表示のある特約については、（　）内の年齢となる年単位の契約応当日の前日まで更新します。
・付加された各特約の保険料払込期間は頭金制度（一時払）を除き同特約の保険期間と同一です。

保険料			
保険料払込額 保険料払込回数（年12回）	44,064円 *	④	保険料口座振替特約付
1回払込額の内訳	主たる保険契約部分	8,208円	
	特約部分	35,856円	

・特約を更新される場合の保険料は更新時の年齢・保険料率によります。

○主たる保険契約の保険料払込期間経過後に払込むべき特約の保険料は、主たる保険契約の保険料払込期間中に一括して前納することを要します。
⑤

★ チェックポイント ― こんな保険でいいんですか

① 現在の死亡保障は1億円（災害時は＋2000万円）ですが、このうち終身保険はわずか500万円で、残りの9500万円は定期保険です。定期保険は10年更新型で、10年ごとに保険料が大幅にアップします。

② 定期保険の保障期間限度は60歳までで、60歳以降の保障はわずか500万円（災害時1000万円）のみです。死亡の大部分は60歳以降にもかかわらず、60歳以降に保障が大幅に減少します。

③ すべての特約は10年の更新型で平成17年までです。更新のたびに保険料がアップするので大きな無駄です。しかも、特に申し出をしなければ自動的に更新されてしまいます。

④ 現在の保険料は44064円です。しかし、これはあくまで現在の保険料であり、特約更新後の保険料については明記されていません。じつは、10年後に保険料は大幅アップし、20年後にさらにアップします。

⑤「入院特約を80歳まで継続したい場合は、60歳時にその後の保険料を一括納入しなければならない」という内容が小さく書かれています。これは100万円近い金額になると推定されます。

◆ ご自分の保険について十分理解されていなかったり、誤解されているケースが多いんです。もしご自分の保険について不安や、不明な点などございましたら当事務所までご相談ください。

担当　渋木 洋子